

日本人が英語の豊富な母音を聞き取れるようになるには、いくつかのステップを踏んで意識的に練習することが効果的です。以下に、その勉強法を紹介します。

### 1. まずは主要な英語母音の違いを理解する

- 英語には、日本語の「あいうえお」以外に、長短の区別やさまざまな音のバリエーションがあり、母音が10種類以上あります。英語の基本的な母音(長母音、短母音、二重母音)について調べ、音声で確認しましょう。
- YouTubeなどで「English vowel sounds」や「American/British vowels」で検索すると、母音ごとの発音とその音に対応する単語を紹介している動画が見つかります。

### 2. 音声変化(リダクション)の理解

- 英語では、強く発音される部分と曖昧に発音される部分(曖昧母音 /ə/ やリダクション)があります。これが日本人にとっての「聞き取りにくさ」の一因です。強調されない音が曖昧に変化するリズムを理解することで、聞き取れる単語やフレーズが増えます。
- 曖昧母音が使われる位置(例えば単語の末尾や接尾辞など)に注意し、音の強弱のリズムを意識してみましょう。

### 3. 英語のリズムに慣れる(シャドーイングの活用)

- 英語のリズムに慣れるために、シャドーイング(聞いた英語をすぐに繰り返す練習法)が効果的です。自分が発音する際、ネイティブのリズムや強弱に合わせることで、リスニング力が向上します。
- 初心者には、英語字幕付きでニュースやポッドキャストをシャドーイングしてみるとよいでしょう。TED TalksやYouTubeでも教材が豊富にあります。

### 4. フォニックスを使った発音とリスニング練習

- フォニックス(音とスペリングのルール)を使って、英語の発音規則を覚えると効果的です。例えば、同じスペリングでも異なる発音がある場合や、逆に異なるスペリングが同じ発音になるパターンを学びます。
- 英語の単語をスペルごとに分解し、発音のパターンを意識すると、聞き取る際に予測がしやすくなります。

### 5. 母音のスペクトラム(スペルと音の対応表)を覚える

- 英語の母音を表すスペクトラムやチャートを覚えてみると、音の聞き分けがスムーズになります。例えば、「ship」と「sheep」などの対比で短母音と長母音の違いを学ぶのも一つの方法です。

### 6. 曖昧音の発音練習

- 曖昧音(シュワー音 /ə/)は多くの単語で使用されるため、慣れることが不可欠です。例えば、「about」の「a」や「sofa」の「a」など、シュワー音が出てくる単語をリストアップし、何度も発音練習することで自然に耳が慣れてきます。

### 7. アプリや音声学教材を活用

- 発音やリスニングを練習できるアプリや教材を活用しましょう。例えば、「ELSA Speak」「Speechling」などのアプリはAIによる発音フィードバックもしてくれます。

これらの方法を続けることで、英語特有の母音やリズムに慣れ、聞き取る力が着実に向上します。